

— トップが語る —

2021.06.21「大阪北部産業界(特集)」掲載記事

山本水圧工業所 社長 山本 知弘氏



高水圧技術と塑性加工技術の「HYPERE X」ブランドを掲げ、ハイドロフォーミングマシンやパイプベンダー(曲げ加工機)、耐圧試験機などを提供している。

昨年来のコロナ禍の影響で、景気はいまだ厳しい状況にある。設備投資の動きにも力が見られない。ただ、立ち止まっているだけではいつまでもたつても復

活できないのでテレワークや時差出勤などを活用し、生産性を下げない工夫をしながら事業活動している。

設計部門のCADオペレーションは自宅でのテレワークで行う体制をとっている。現場の組み立て工程以外はリモートでやればできる環境にあり、製品の出荷立ち会いもカメラや機材を使い対面でない形でも行っている。ペトナム現地法人との打ち合わせもすべてテレビ会議で行い、意思疎通をしている。

在宅勤務は昔から言われてきたことだが、コロナ禍によって働き

コロナ後見据え進化続ける

方が大きく変わり一気に浸透した。この1年で5-6年分の変化が起こった気がする。コロナ収束後もこうした変化の流れは継続しそうで、わが社もリモート対応などできることは続け、進化させていきたい。

今年度は設計業務の管理体制を強化する。設計を担う人材が若返りしていることから、業務の難易度チェックなどサポートに力を入れる。

ミスが発生させないという強い自覚を持って仕事に臨んでもらえるようにしっかり育て上げていきたい。